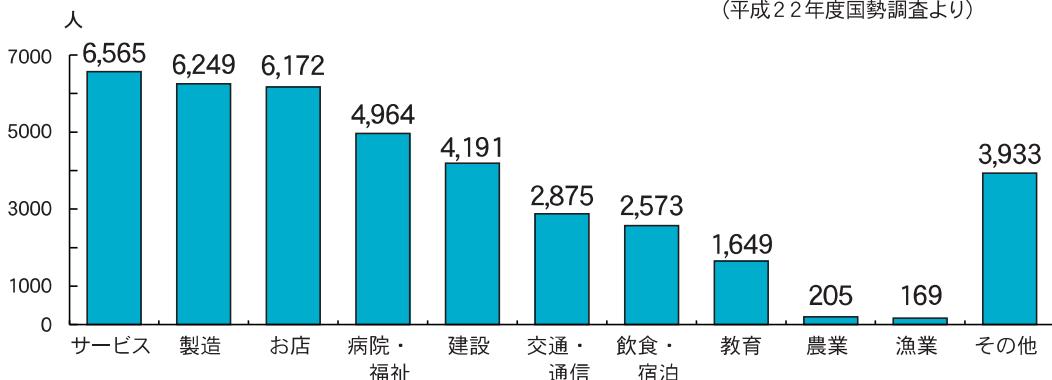


3 調べよう 物をつくる仕事

室蘭市の人たちの仕事しらべ

(平成22年度国勢調査より)



室蘭市では、どんな仕事をしている人がいるかを調べましょう。また、工場と港のかんけいをしらべましょう。

ものづくりのまち

やすこさんたちは、まちめぐりをしたときに、港のまわりにたくさんの工場があることをしりました。



函館どつく

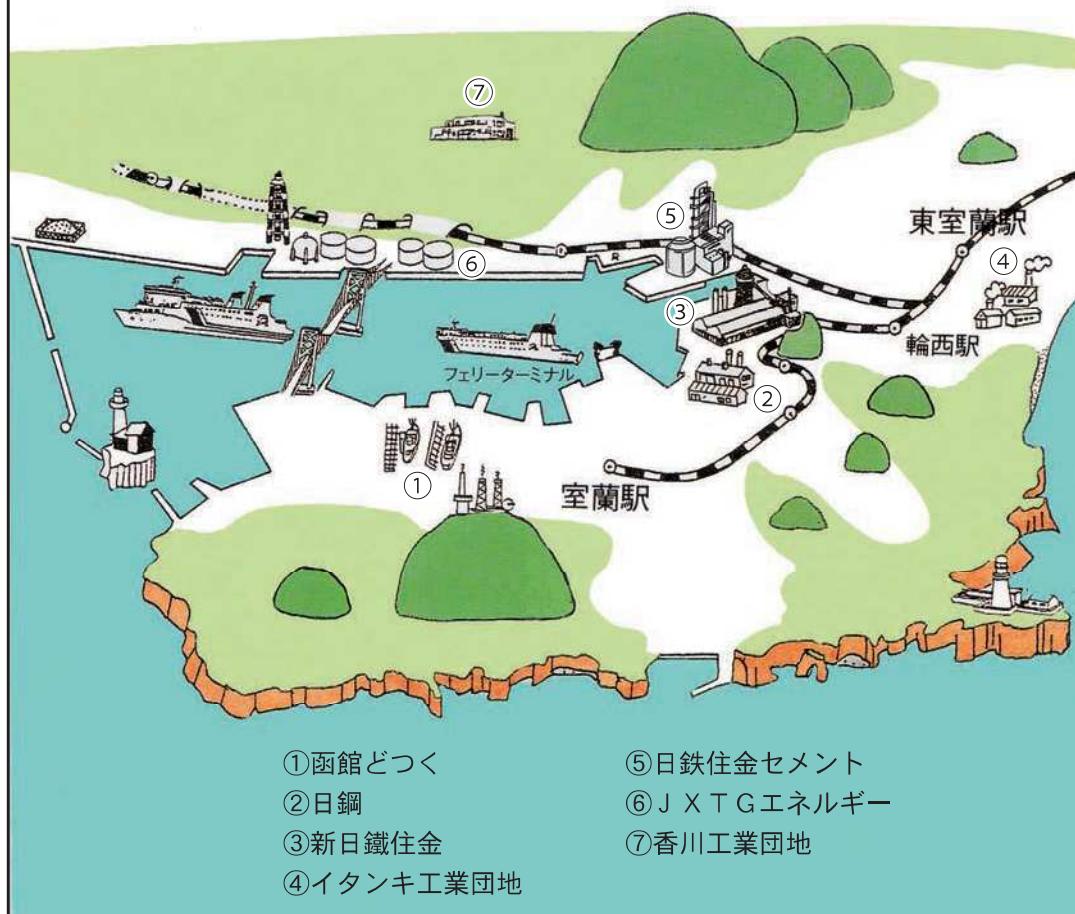


ぼくたちがすんでいる室蘭には、鉄にかかわる工場が集まっているんだよ。

おとうさんから、室蘭は「ものづくりのまち」っていわれていると聞いたことがあるわ。



室蘭の工場



やすこさんが地図で調べてみると、室蘭には、港にめんして新日鐵住金や日鋼、JXTGエネルギーなどの大きな工場があり、イタンキ工業団地や中島の入り口にも中小の工場がたくさんあります。

また、香川町の工業団地には、せいみつな部品をつくる工場があることがわかりました。

ものづくりのまち 室蘭

鉄にかかる大工場を中心にして、それをささえるたくさんの工場があります。また、大きな工場どうしもおたがいにかかわりあってせい品をつくっていることもあります。

「どの工場と、どの工場がどのようにむすびついているかをしらべてみるのもいいですね。」と先生がおっしゃいました。

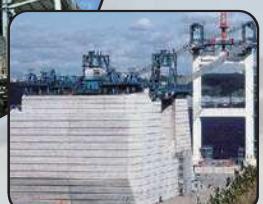
とくしゅな技術をもっている工場や室蘭のかんきょうを生かして船やせいみつな部品をつくっている工場もあります。



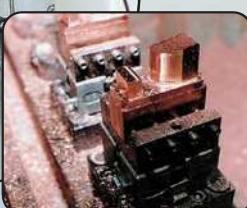
函館どつく



日鉄住金セメント



香川工業団地(キメラ)



新日鐵住金





JXTGエネルギー



日鋼



先人が築き上げた技術を未来へ引きついでいくためにも、
室蘭でつくられているせい品や、働く人の姿を実際に見
て学ぶことが大切です。室蘭には、工場見学の受け入れを行う
会社や、ものづくり体験を提供する大学や市民団体など
が多くあります。これらのものづくりに親しむための取り組み
を、室蘭では『てついく（鉄育）』と名づけています。



親子工場見学・ものづくりバスツアー



工場で働く人

(1) 鉄をつくるしごと



空からみた新日鉄



「すごく広い場所にいろいろなたてものがたっているわ。それぞれの工場でどんなものがつくられているか調べてみたいわ。」

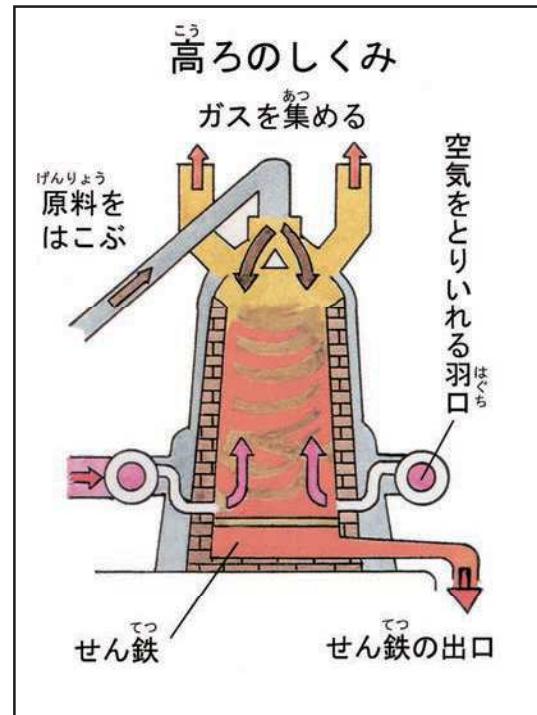
鉄をつくる工場
やはたらく人のよ
うすを調べましょ
う。

- やすこさんは、市内で一番大きな工場の新日鐵住金室蘭製鐵所（新日鉄）を調べることにしました。
この工場では、鉄こう石から鉄をつくりっています。
- 工場のきかいを動かす人、きかいをしゅうりする人、新しいぎじゅつを考える人など、協力している会社の人などを合わせると、ぜんぶで400人ほどの人がはたらいています。この製鉄所の広さは、学校のグランドのおよそ400ばかりあります。

①高ろ

高ろは、コークスをもやして高い温度にし、鉄こう石からせん鉄をとりだすところです。

いぜんは、まっ赤にとけたせん鉄が火花をちらしてながれるのが見えましたが、今は、はたらく人の安全とかんきょうを考えてカバーがしてあります。



高ろとその仕組み

②鉄せいひんができるまで

新日鐵住金には鉄こう石からとりだしたせん鉄をねばり強いはがねにかえる工場もあります。

さらに、このはがねをもとに、自動車やきかいの部品の材料にする工場や、つり橋用のワイヤをつくる工場がじゅんじょよくならんでいます。

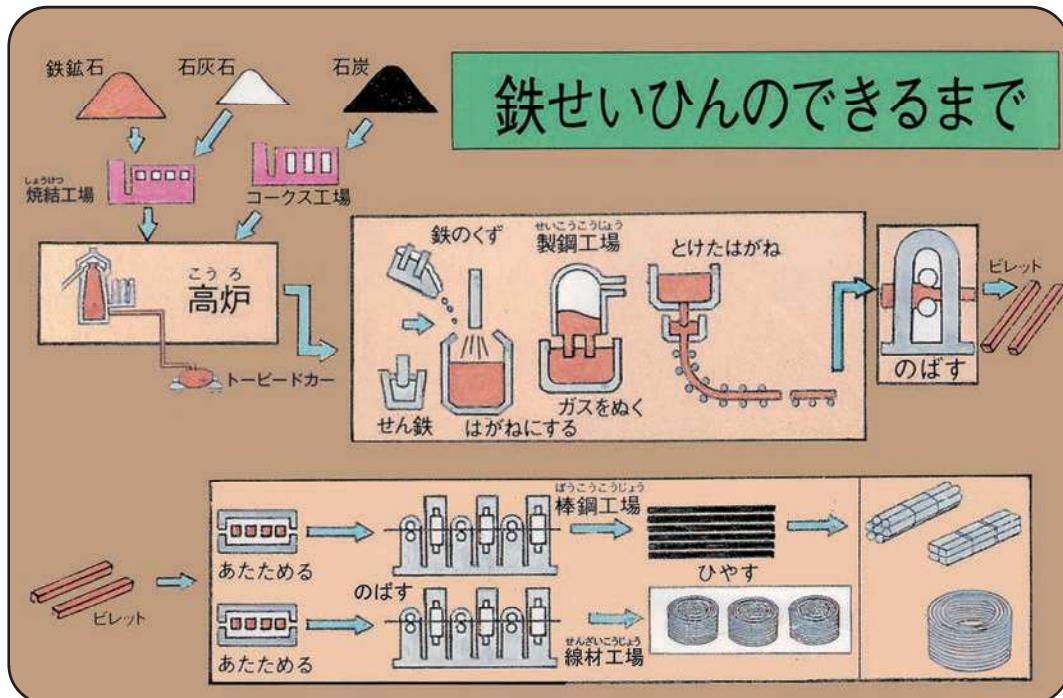
ここでつくられた製品は、主に国内の自動車メーカーや部品メーカーなどにおくりだされます。



鉄こう石を溶かして銑
鐵をとりだす高ろ(左)

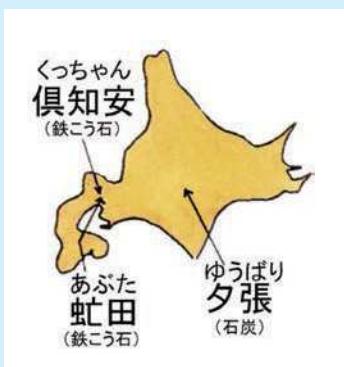


銑鐵に酸素をふきつ
け、ねばり強い鋼にす
る転炉(右)



棒鋼・線材製品が加工されるようす

<鉄づくりのうつりかわり>



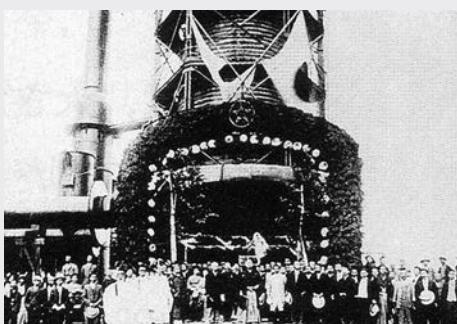
室蘭で鉄づくりがさかんになったわけ

- ①鉄のげんりょうとなる、鉄こう石や石炭が近くでとれた。
- ②鉄や石炭を運ぶ、鉄道が通っていた。
- ③自然のよい港にめぐまれていたので、鉄を運ぶのに、つごうがよかったです。

室蘭で製鉄業がさかんになったのは、こうした条件と、工場で力をあわせ働いたお父さんたちのがんばりがあったからなんだ。



みつぐ君のおじいさんのころ

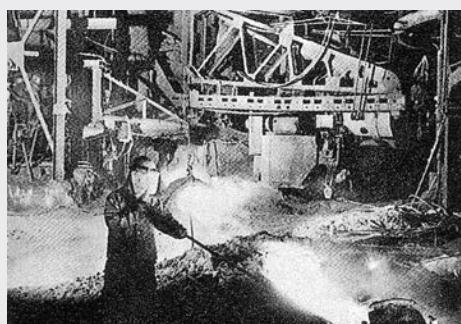


高ろで、はじめて鉄をつくった日は、ちょうどちん行れつをして、よろこび合いました。

外国からの輸入にたよっていいた鉄を、^{ゆにゅう}北海道でもつくれるようになつたからです。

当時は、2組2交代で仕事をすすめていました。

みつぐ君のお父さんのころ



鉄をつくるりょうも、どんどんふえました。げんりょうになる、石炭や鉄こう石を、外国から輸入しました。

あつさとたたかう、きびしい仕事でしたが、3組3交代で、5日に1度は休めました。

(2) 大きなせいひんをつくるしごと



製鋼工場「120トン電気炉」

どんなせいひん
をつくっているの
か調べましょう。
また、はたらく人
のようすも調べま
しょう。

日本製鋼所室蘭製作所（日鋼）から
「ガーン、ガーン」と大きな音がします。
みつぐくんは、この音の正体を調べに行
くことにしました。

日鋼では、かんれん会社や協力会社の
人をふくめると3000人ぐらいの人があ
はたらいているそうです。

この工場では、鉄くずを電気の
「ろ」で、どろどろにとかしては
がねをつくり、それをもとにして
いろいろなせい品にしています。

とくに、はがねのかたまり（鋼
塊）は世界最大670トンをつく
ることができます。主な製品は発
電所で使われるタービンロータ軸



世界最大670トン鋼塊

や天然ガスを輸送するクラッド鋼管など、ものづくり
の技術は世界中でみとめられています。

市内でもこの工場で作ったせい品が活躍しています。
リアクターは陣屋町にある JXTG エネルギーで使われ
ていますし、白鳥大橋のケーブルバンド(とめがね)も
この工場でつくったそうです。

みつぐくんは、大きな音のしようたいもわかりました。これは、たんぞう工場ではがねをたたいているハンマーの音だったのです。はがねをたたくとさらにねばりがあるじょうぶなはがねができるそうです。

みつぐくんは次に、さらに大きな1万4千トンプレスも見せてもらいました。1250^おどもあるまっ赤なはがねをグーッと押しつぶしてしつのよいはがねにしています。



<おじさんの話>

うちの工場は、鉄製品のほかにもいろいろな技術をもっているんだよ。市内では、石川町のごみしょりしせつや文化センターの
れいだんぱう冷暖房システムにも日本製鋼所がかかわっているんだ。



たんれん
鍛錬工場「1万4千トン水圧プレス」



<みつぐくんのかんそう>

「こんなに遠くで見ても顔があつくなって外に出なくなっちゃった。何時間も1万4千トンプレスのそばではたらいている人は、たいへんだろうなあ。このまっ赤なはがねについて発表しよう。」

めい しゅう 室蘭の名勝

名勝とは

言い伝えに登場するなどさまざまな由来をもち、美しいけしきをもつ土地で、これを大切に守っていくために、国が指定した土地のこと。

「ハル・カル・モイ」

アイヌ語で〔食りょう・とる・入江〕という意味です。

地名のとおり魚や貝などを採るのに使われた場所なのでしょう。



ハルカラモイ



「マシ・チセ」

アイヌ語で〔海ネコ(の)・家〕という意味です。

今も海鳥が多く、すを作っている場所です。

アイヌの人たちがかりをしたあとも見つかっています。



ますいちはま
増市浜

ムロランの土地の名前の由来

室蘭市には、アイヌ語がもとになつた地名が100以上あります。

室蘭（むろらん） → モロラン・モルエラン（ゆるやかに下る坂）

茶津（ちゃつ） → チヤシ（とりで）

絵鞆（えとも） → エンルム（みさき）

イタンキ浜 → イタンキ（おわん）

幌萌（ほろもえ） → ポロ・モイ（大きい湾）

みなさんも、こうした地名がないかさがしてみましょう！

えともはんとうそとかいがん
名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸として、平成24年
(2012年)新たに国の指定を受けました。
「ピリカノカ」アイヌ語で〔美しい・形〕という意
味です。



「トゥカル・イショ」

アイヌ語で〔アザラシ・岩〕
という意味です。
今、アザラシはなかなか
見られませんが、かつて
はよく来ていたことを示
す地名です。

「ポロ・チケプ」

アイヌ語で〔親である・
がけ〕という意味です。
とう台で有名な地球岬で
すが、アイヌ語の地名の
とおり、海からみると写
真のようにとても大きな
がけになっています。

むかしの室蘭の地図



絵鞆半島に付けられたアイヌ語地名
明治初め頃「胆振国室蘭郡全図」より



江戸時代に作られた室蘭地域の図
松浦武四郎「三航蝦夷全図」より

市内にはアイヌ語の地名が多く、古くからアイヌの人たちが生活していた
ことを示しています。

むかしの人たちは、いったいどんな生活をしていたのでしょうか。